

## 育苗センター 播種作業最盛期



▲播種作業をおこなうJA職員

4月10日(月)からJA育苗センターで播種作業が始まりました。コシヒカリやこしいぶぎ、新之助など温湯消毒処理された種もみ約22トで育苗箱16万枚程度を播種しました。出芽苗は4月15日から出荷とあわせて育苗ハウス内に並べ、硬化苗の出荷はこしいぶぎやこがねもちを5月5日から、コシヒカリは5月10日からを予定しています。

## 新入職員辞令交付 決意新たに



▲決意を語る新入職員

4月1日(土)、JA本店で平成29年度新入職員の辞令交付式をおこないました。新たにJA職員として採用された4人の職員は谷口熊一組合長から一人ずつ配属先を示した辞令を受け取りました。新入職員の横田さくらは「小千谷・組合員の皆様に貢献していきたい」と決意を語りました。4人は研修後、各部署に配属し業務にあたっています。

## 恒例ゴミ拾い 地域へ貢献



▲ゴミを拾い集めるJA職員

4月7日(金)、当JAは支店強化活動の一環として各支店でゴミ拾いをおこないました。JA職員61人が参加し総延長約73kmの道のりを歩き、ゴミを拾い集めました。拾い集めたゴミはゴミ袋30袋ほどでした。ゴミ拾いに参加した園芸特産課の大窪和弥は「地域をきれいにするのが出来た。今後参加したい」と感想を語りました。

## カリフラワー総会 29年産栽培に向けて 【北部出荷組合】



▲活動報告をおこなう和田組合長

4月6日(木)、JA越後おぢや管内のカリフラワー生産者で組織する「北部出荷組合」は総会を開きました。同組合の組合員など38人が集まり、今年度事業計画などを承認しました。同組合の和田勉組合長は昨年を振り返り「収量が減ったものの品質は良く平均単価は良かった」と語り、今年度の生産者増加と面積拡大へ期待を膨らませました。

## 育苗技術学ぶ 総会開く

【小千谷水稻集団栽培推進協議会】



▲育苗のポイントを話す高橋技術主幹

4月5日（水）、小千谷市水稻集団栽培推進協議会」は総会を開きました。各団体の代表者など38人が参加。今年の活動計画などを承認しました。同協議会の関勝司会長は「J.Aなどと協力し、より良い米を生産していきたい」とあいさつ。当日は、片倉コープアグリ(株)の高橋源夫技術主幹を講師に招き水稻育苗技術を学びました。

## 新病院での 活動開始へ

【たんぼぼの会】



▲あいさつをする杵淵会長

4月18日（火）、JAしあわせ組織「たんぼぼの会」は総会を開きました。会員ら約40人が出席し、今年度活動計画などを承認しました。同会の杵淵カズ子会長は「新病院に協力を得てボランティアについて勉強していきたい」とあいさつしました。当日は、小千谷総合病院の星久代看護部長が新病院・ボランティアについて講演をおこないました。

## 健康情報ひろば



### 介護予防・日常生活 支援総合事業が 始まりました

小千谷総合病院

居宅介護支援事業所

杵淵英子

平成29年4月から、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）が始まりました。社会保障費の増大や介護手続きの手間・地域ごとの状況を踏まえた高齢者を支えるしくみ作り等、様々な観点から開始となった経緯があります。

さて、総合事業になったことで、どう変わるのでしょうか？  
今までは介護保険を受けなければデイサービス・ヘルパーの利用ができませんでしたが、今後は、ご利用を希望する方の状態によっては、簡単なチェックリスト（25項目の質問用紙）で、利用を受けられるようになります。チェックリストで受けられる総合事業は、サービスタイプが

複数あり、これらは要支援1・2の認定を受けている方もご利用できます。

また、今までは認定があることで介護を要する意味合いから、利用が難しかったデイホーム等の集いも、デイホーム側の受け入れが可能であれば、利用ができることとなります。これは、すべて介護予防事業と要支援1・2の介護保険サービスが一体的にまとまったためです。

ただ、注意が必要です。すでに要支援1・2を受けている方は、平成29年度の更新時期により、新たな事業への移行となります。また、デイサービス・ヘルパーさん以外のサービスを利用している方は、現状通りの対応となります。

サービスの利用やご利用に際してのご相談は、小千谷市保健福祉課や小千谷市地域包括支援センター・居宅介護支援事業所にご相談いただけます。

